

町会等とボランティア団体との連携

事例紹介： 布施新町町会と
布施新町いきいきネットワークの連携

1. 布施新町の概要

- * 柏市の北東部 我孫子市に隣接。1970年代開発の戸建て分譲地
- * あげぼの山農業公園・布施弁天近郊の住宅地
- * 当初3自治会でスタートしたが現在は『布施新町町会』に統合
- * 人口2,840人(2023年4月)、3,124人(2012年4月) **9%減**
- * 65歳以上49.8%、75歳以上36.3%(2023年4月)
- * 柏市平均：65歳以上25.7%、75歳以上12.4%(2023年4月)

2. 布施新町いきいきネットワーク設立経緯

布施新町の問題

1. 布施新町は超高齢化地域
2012年 65歳以上**43.3%**（柏市20.9%） 75歳以上**14.7%**（柏市8.6%）
2. 町内1200世帯はすべて戸建て分譲で住民の流動性が低く、高齢化が更に進むと予想された。
3. 自治会役員は任期1年で全員交代し、継続した高齢化対策は難しい。

2011年度 布施新町自治会役員会で組織づくり

1. 自治会の『安心・安全な町づくり委員会』で対策チーム設置。
メンバー：役員5名、富勢地域ふるさと協議会役員2名、民生委員1名、老人会役員1名 合計9人。
2. 2011年10月から協議して2012年3月ボランティア組織案作成。
2012年4月 布施新町自治会総会で承認。『布施新町いきいきネットワーク』として発足。『**運営委員会**』は設立委員9人、活動グループ代表、自治会長（顧問）で構成。
3. 毎年、自治会会長は布施新町いきいきネットワーク運営委員会 **顧問**に就任。

3. ボランティア組織づくりと活動方針

住民アンケート調査（2012年3月）

1. 発足時には三井柏自治会との協働活動には同意を得られなかった。
2. 布施新町自治会会員878世帯に対して**記名式アンケート**を実施。
防犯、健康維持、趣味、地域貢献、福祉ボランティアに関し20項目の設問
回答数495世帯（回答率56%）。
3. 2012年4月～9月 アンケート回答を分析し活動計画を策定した。

活動開始（2012年9月）

1. アンケート回答で最も参加希望の多い項目、比較的費用負担の少ない活動を優先する方針で計画した。
 - ①**ふれあいパトロールの会**（2012年9月）：**パトロール参加希望回答78人**
前年度まで自治会役員が実施していた防犯パトロールを引き継いだ。
⇒パトロール合図灯は自治会から貸与を受けた
 - ②**草花で街を明るくする会**（2013年4月）：4公園に花壇に造成して維持管理
柏市公園里親制度を利用して花壇造成資材を柏市公園課から現物支給。

布施新町いきいきネットワーク運営委員会と自治会との連携

1. 運営委員会は毎月1回開催、グループ活動の報告/協議、自治会役員会との情報交換、連携協議を行う。
2. 2013年度には自治会の「安心・安全な町づくり委員会」に参加して新規プロジェクトを検討⇒**ふれあい健康体操の会**（2014年4月）発足。
3. 顧問として参加した自治会長は翌年任期終了後運営委員会に参加する。
4. 2013年度以降三井柏自治会会長も顧問として運営委員会に参加。
5. 両自治会から賛助金を受ける（総会で議決のため会員に連携活動を周知）。

会員募集と資金調達

1. 新規プロジェクトではアンケート調査で参加希望した会員を対象にポスティングして募集を行った⇒**記名式アンケートが大きな効果を発揮した。**
2. 任期終了の自治会役員のボランティア活動参加を強かに促進した。
3. 自治会からの賛助金、集会所庭の除草/剪定収入、柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）等の収入で運営費用を調達した。
4. 活動が広がるに応じて、柏市社協、企業福祉団体からの助成金を活用した。

4. 布施新町いきいきネットワーク活動内容

布施新町いきいきネットワーク 8グループの自主活動を支える連合体

1. ふれあいパトロールの会 : 防犯パトロール（健康増進、ふれあい促進）
2. 草花で街を明るくする会 : 町内4公園で花壇造成管理
3. ふれあい健康体操の会 : 3公園でフレイル予防体操、脳トレ体操
4. ホームページ委員会 : <https://fuseshinmachi.com>
5. 布施新町支え合いネット : 高齢、病気になっても生活支援ネット
6. 布施新町ものがたり広場 : 気楽に集うみんなのサロン
7. 布施新町脳トレ麻雀クラブ : 楽しみながら健康寿命を延ばそう
8. 布施新町みらいプロジェクト : 全世代を対象として明るい未来をつくる

活動1：防犯パトロール

- * 2012年9月発足（会員63人）
週3回30分パトロール
- * いきいきネットワーク活動の母体として各グループ活動に参加
- * 3グループ6チーム分かれてパトロール



ふれあいパトロールの会



柏警察署長と合同パトロール

2022年度パトロール参加実績
参加者数 4,254人
実施日数 136回（31人/日）

活動2：公園で花を楽しむ

草花で街を明るくする会

- * 2013年4月発足
- * 柏市公園里親として公園をきれいに
- * 4公園とふるさとセンター花壇管理
週2回水やり・花がらつみ実施
- * 年2回花壇デザイン会議で花壇設計



研修交流：神代植物公園バスツアー

2022年度活動実績

参加延べ人数1,523人 活動日数108日



花壇の植え付け（年2回実施）

- * 草花種まき講習会：園芸技術向上
- * 研修会：園芸知識の向上・ふれあい

活動3：フレイル予防体操

- * 2014年3月発足
- * 第2(火)・第5(水)・第3(金)公園で
9時30分 元気に健康体操
- * ラジオ体操、脳トレ体操、
ロコモ予防体操、げんきりん体操
- * 夏休み期間：小学生と合同体操



300回記念合同体操

ふれあい健康体操の会



柏市制作：ロコモ予防体操

2022年度参加実績

参加者数	3,843人
実施回数	136回 (28人/回)

活動4：ホームページ運営

ホームページ委員会

いきいきネットワークの広報誌

＊2015年3月開設

＊いきいきネットワークの活動

＊ボランティア活動紹介

＊地域イベントの特集

＊サークル活動紹介 ＊住民投稿欄

検索：fusheshinmachi.com

布施新町いきいきネットワーク



住民投稿：映像ギャラリー 写真集



布施新町絵画教室

ふるさと絵画教室とは

- 水彩・油彩・鉛筆画などの制作を楽しんでいます。先生はいますが、経験のある会費がアドバイスいたします。
- 会と会の年2回展示会を開催（2022年秋で第14回）

例会・展示会の記録

- 第30回 ふるさと絵画展
- 第49回 ふるさと絵画展

会員募集

- 毎月第1、第3土曜日、第2、第3日曜日 午前9時～19時（自由参加）
- 場所 ふるさとセンター 1階3B
- 会費 3ヶ月 5千円（会費別冊発行はか）
- 問い合わせ 坂本幹一（04-7133-4706）

1997年（平成9年）に創設以来、毎年8月と11月の年2回、ふるさと絵画展を開催してまいりました。今年2022年（令和4年）の11月で創設の46回となります。

2019年になくなった旧会員の横山謙次先生も、ずっと文筆で喜んでくださっていることと思います。これも縁の書かまの縁ないご支援の気持ちと真心より感謝を申し上げます。

月に4回ふるさとセンターで活動を行っております。現在会員は9名です。油彩、水彩、鉛筆、パステルなど、さまざまな会費で個性豊かな作品に盛り込んであります。流行意識の繰り返しが、みんな絵を描くのが大好き。楽しく、自由に、をモットーにこれからも活動を続けてゆきたいと考えております。この作品が他の皆さんの作品と刺激しあうの機会があれば、大変嬉しく思います。

ふるさとセンターのロビーに会員の作品を展示させていただいております。機会がまりました是非ご覧ください。絵画展が近づきましたらいつものご案内がかりを스팅ングさせていただきます。お詳しい上お依頼にご返信ください。今後共々よろしくご支援のほどお願い申し上げます。

2022年6月 ふるさと絵画教室代表 坂本幹一

Copyright © 2022 布施新町いきいきネットワーク All Rights Reserved.

サークル活動

活動5：生活支援支えあい

布施新町支えあいネット

* 2016年6月活動開始(協力者56人)

* 高齢者・病気住民の日常生活支援

* 全世帯対象アンケート調査実施

* 要望の多い草取り・ゴミ出し

ゴミ当番代行等のサービス開始

2022年度活動実績

草取り40件 ゴミ出し215回 当番代行92回



草取り作業



協力者交流会

活動6：通いの場サロン

布施新町ものがたり広場

- * 2016年10月発足
- * ふるさとセンターで楽しい集い
- * 参加者名札発行110人
- * 月1～4回開催 平均参加者35人
- * おしゃべりタイム
- * ハーモニカ、キーボードで合唱
- * 健康セミナー、みんなでゲーム



ハーモニカ合唱



新しいゲームボッチャに挑戦



剣舞と民謡

活動7 脳トレ・ふれあい促進

布施新町脳トレ麻雀クラブ

2018年12月発足

- * 脳トレ麻雀で健康寿命を延ばす活動
- * ふれあい促進(名札着用)



3グループで楽しい交流

- Aグループ（上級）：火曜日13時～
- Bグループ（中級）：火曜日13時～
- Cグループ（初中級）：水曜日13時～

2022年度参加実績

- Aグループ 201人 Bグループ 365人
- Cグループ 204人 合計 770人



1. 未来プロジェクト活動内容

みんなの広場

おしゃべり広場：ビデオ鑑賞して意見交換、おしゃべり
百人一首の会：百人一首と平安文学・文化を学ぶ
絵手紙教室：季節の題材で絵手紙を書いて楽しむ

ICTプロジェクト (情報通信技術普及)

スマホ教室：シニアのスマホ普及、LINEネットワーク
オンライン国際交流：シニアと外国日本語学生との交流

ぶらりゆめプラザ

住民交流イベント：ジャズコンサート、未来寄席
こども交流イベント：科学実験教室、竹とんぼ教室、
ロボットプログラミング
弁天太鼓体験教室

2. みらいプロジェクトの設立経緯

- * 2016年5月 東京大学高齢社会総合研究機構(IOG)より「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」を布施新町で行いたいとの提案を受ける
- * 2016年12月 布施新町みらいプロジェクトが発足
- * 2016年12月 みらいプロジェクトワーキンググループ会議発足
毎月1回、東京大学柏の葉キャンパスで定例会
メンバー：東京大学, 柏市福祉部各課, 柏市社会福祉協議会
みらいPJ 世話人会
- * 2017年4月 IOG指導による三世代参加のまちづくり活動実施
～ 2018年3月 ワークショップ「みらいの語り場」
イベント「みらいひろば」等の実施
- * 2018年4月 布施新町いきいきネットワーク傘下で活動を継続

みんなの広場

令和 元年：趣味を通じての交流



みんなのカフェ



絵手紙教室



脳トレドリル



小倉百人一首

布施新町ICTプロジェクト

スマホ教室



令和元年 スマホ教室



令和2年 オンライン併用スマホ教室



令和3年 スマホ教室交流会



令和3年 サポーターによる相談窓口

2. ぶらりゆめプラザ

令和 元年：科学実験教室



コマと竹とんぼの説明



竹とんぼを作ってみよう



コマが倒れないのはどうして？



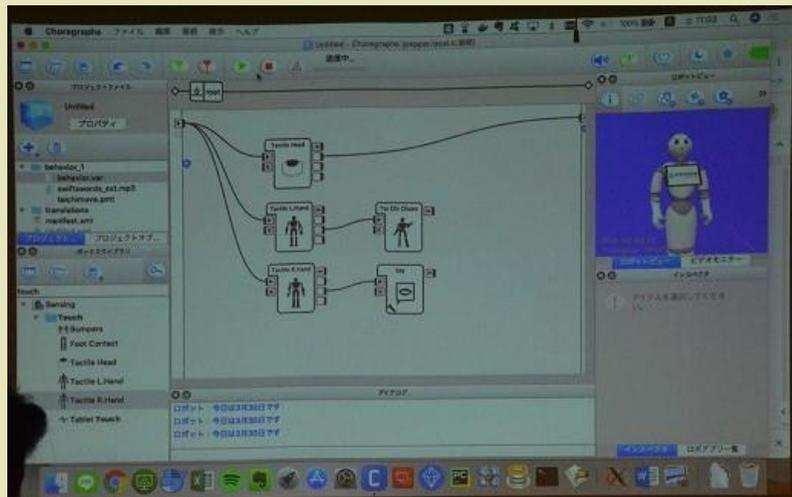
飛びそうな竹とんぼが出来た



どのような仕組みかな



手順を協議しよう



これが設計図です



プログラム通りに動いた！

ぶらりゆめプラザ

令和 元年：ジャズコンサート



懐かしいジャズを楽しみます



ワインを飲みながらの楽しいひととき



素晴らしい腕前ですね



5. 布施新町 まちづくり 今後の課題

布施新町人口構成の変化にどう対応するか

* 増加していた空き家での新築が目立っている

2022年度：布施新町町会 **退会10世帯/入会12世帯**

* 富勢東小学校 生徒数**85人**から増加に転じている2023年**104人**

* 現役世代は地域活動への余裕がない/回覧案内の効果低下

➡ **町会役員会との連携を強化する**

* 町会主催「ボランティア・趣味の会活動展」(2023年5月)

* 活動・イベントを町会主催として若い世代の参加を増やす

➡ **富勢東小学校/PTA、ボランティア団体、町会 連携強化**

* 富勢東小学校 地域懇談会の活動を町会役員会と連携

富勢東小学校「地域人材100名計画」を地域ぐるみで促進する

(父兄・地域の人材が小学生の課外教育をサポートする活動)

PTA主催『富勢東小学校地域応援団』と連携して地域活動につなげる

まとめ：ボランティア団体と町会との連携

1) 自治会役員会がボランティア団体発足を企画推進

- ① 布施新町の高齢化が進んでおり、町が率先しての対策が必要であった。
- ② 町会役員会は任期1年で交代するため継続的な高齢化対策が難しい。
- ③ 町会役員有志、地域のボランティア活動家、発足した活動グループの代表で構成する『運営委員会』がボランティア活動を推進した。

2) いきいきネットワークの運営方針

- ① 町会役員会が行うべき活動をボランティアが補完して実施する。
- ② 町会が実施したアンケート調査に基づき住民の希望に応じた活動を計画
- ③ 自治会長は運営委員会に顧問として参加し、連携活動の調整役を担う

3) いきいきネットワークと町会の連携活動

- ① 当初は自治会の委員会に参加して協働でプロジェクトを計画・促進した
- ② 活動プログラムは町会主催・いきいきネットワーク運営で住民に周知
- ③ 町会はいきいきネットワークに資金援助をして町民に連携を周知させた

布施新町 は更に前進します

住民がみんなで元気に過ごせる町
住民みんなが明るく集う町
住民が気軽に支え合う町

ご清聴ありがとうございました